

事業所職員向け

自己評価表

実施期間令和3年1月
配布数 7名

この自己評価表は職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。
「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	コメント
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	1	・バギーや座位保持の置き場所がない。	広くスペースが確保できるよう不要なものは撤去していく。 利用児様の持ち物で、常時使う物は整頓し、普段使わない物は返却する。
	2	職員の配置は適切か	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	4	・玄関に段差があるため工夫が必要。	玄関の段差はスロープを設置する。 手や頭部を怪我をしないように複数のスタッフで安全に出入りができるよう配慮している。
	4	衛生管理、整理整頓は十分になされているか	7			
	5	室温、湿度の管理がなされているか	7			
	6	事業所内外の安全管理がなされているか（危険個所はないか等）	7			
	7	スタッフの休憩する時間、スペースが確保されているか	5	2	・休憩時間で書類を作成したりしている。	勤務時間中に書類作成できるよう時間を確保していく。
業務改善	8	業務改善を進めるためPDCAサイクル（目標設定と繰り返し）に広く職員が参画しているか	7			医療安全委員会を立ち上げ、インシデントやヒヤリハット等を話し合い共有することで実践できている。
	9	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			
	10	自己評価の結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	11	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4		今後、外部監査が入る予定。その際の指摘事項について早急に改善するよう努めていく。
	12	定期的な会議やミーティングが実施されているか（全体・ケア会議等）	7			
	13	日報や連絡帳などで情報共有がなされているか	7			
	14	送迎車両の点検・整備・清掃はなされているか	7			
適切な支援の提供	15	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	7			
	16	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントシートを使用しているか	7			
	17	個別支援計画に沿った支援が行われているか	7			
	18	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			活動プログラム立案時、職員一人一人に案を出してもらい、全体で作成していく。
	19	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			
	20	平日・長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定し支援しているか	7			
	21	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ個別支援計画を作成しているか	7			
	22	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割について確認しているか	7			
	23	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	7			
	24	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			

	25	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7			
	26	ガイドラインの総則の基本活動を組み合わせて支援を行っているか	7			一人一人が把握できるよう事業所内で研修や読み合わせを行い周知に努める。
	27	送迎の運転・添乗は適切に行えているか	7			
関係機関や保護者との連携	28	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			
	29	学校と情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7			
	30	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7			引き続き、関係機関と連携し情報共有し支援を行っていく。
	31	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7			
	32	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	1	・対象利用児不在。	他の関係機関と連携し、医ケア児については情報共有、相互理解に努める。
	33	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	3	・対象利用児不在。 ・現在該当者はいないが、来年度就学する利用者あるため情報共有を図っていく。	他の関係機関と連携し、医ケア児については情報共有、相互理解に努める。
	34	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	3		引き続き研修等に参加、また相談支援員の方などからも情報を聞き、積極的に参加していく。
	35	放課後等児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会はあるか	1	6		コロナ禍の為出来なかった。感染拡大が収束したら、地域の行事等に参加出来る機会を設けていきたい。
	36	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	3		盛岡広域の意見交換会や、つき一会等に参加している。その他の研修に関しても情報を集め、参加していくよう努める。
	37	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			
保護者への説明責任等	38	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	1	6		研修情報を得て、個々職員が参加し、支援できるよう努めていく。管理者、児発管で積極的に参加する。オンラインでの研修を活用する。
	39	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	40	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			
	41	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	4		コロナの感染拡大が収束したら、来年度に向け気軽に参加できるサロン会等、保護者交流会を企画していく予定である。
	42	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			
	43	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			
	44	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7			
	45	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			
	46	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	1	・年に一回作品展の際、チラシを近隣のお宅にポスティングを行っている。	コロナが収束したら、活動（散策、避難訓練等）を通し、事業所の周知活動に努めていきたい。
	47	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7			

非常時等の対応	48	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			
	49	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7			
	50	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1	・対象利用児不在。	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	7			
	53	インシデントレポート・ヒヤリハットを作成して事業所内で共有しているか	7			